

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（4月定例会）会議録
開催日時	令和4年4月22日（金）午後2時から午後3時30分まで
開催場所	田無第二庁舎3階会議室
出席者	委員：高橋議長、河野副議長、伊尻委員、川原委員、黒羽委員、坂内委員 菅野委員、攝賀委員、長谷川委員、松本委員、宮本委員 事務局：吉田社会教育課長、神保社会教育係長、齋藤主事（社会教育主事）、野田主事
議題	(1) 地域学校協働活動の取組状況について (2) 地域学校協働活動の現在の課題と改善・提案（案）について (3) 令和4年度の提言テーマについて
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

●議題について

議題（1） 地域学校協働活動の取組状況について

各校より説明

議題（2） 地域学校協働活動の現在の課題と改善・提案（案）について

○議長：前回の定例会において、けやき小学校と明保中学校の事例部分については、両校に確認いただき、その他の資料の精査や体裁などについては、事務局にお願いすることになった。事務局から、前回からの資料の修正について、説明を願いたい。

○事務局：参考資料を用いて、3月定例会からの修正箇所について説明。

○議長：何か質問や意見はあるか。

○委員：地域学校協働活動の現在の課題と改善・提案（案）の明保中学校の事例部分中の漢字が、正しくは「行程」ではなく「工程」なので修正を願いたい。

○議長：その他の意見はないか。

（一同意見なし）

○議長：意見が無いようなので、お手元の事例部分中の漢字を修正いただき、表紙の（案）を削除いただき、決定ということによろしいか。

（一同異議なし）

### 議題（３） 令和４年度の提言テーマについて

○議 長：事務局より説明をお願いしたい。

○事務局：令和４年度の提言テーマについては、令和３年11月定例会において「地域づくり、人づくり」となった。本提言は社会教育法第17条（社会教育委員の職務）第１項第１号に基づき、「社会教育に関する諸計画を立案すること」として立案いただくものである。任期期限の令和５年６月に提言いただければと考えている。

○議 長：令和４年度の提言テーマは「地域づくり、人づくり」ということで、非常に難しいテーマでもあり、非常に大きなテーマでもある。テーマを絞り、もう少し焦点化し、議論を深めた方が良いのではないだろうか。

（一同合意）

○議 長：それではテーマを絞ることとする。提言テーマ「地域づくり、人づくり」という言葉から何を連想するのか、ご意見をお願いしたい。

○委 員：１年生の下校ボランティアや、飼育のお世話を通して自然と地域や人というものが見えてきた。例えば、ボランティアでは保護者や既存団体だけではなく、こちらが想定していなかった卒業生や、地域の方が参加されて、そこで繋がりができていると感じた。地域づくり、人づくりというテーマは、地域学校協働活動がきっかけになるのではないかと考えるので、地域学校協働活動を完全に切り離さなくても良いのではないだろうか。

○委 員：小学校で活動をしている中で、人がなかなか集まらないという悩みがある。イベントごとで募集しないとなかなか来てもらえないところがあるので、人が集うきっかけづくりについて考えていきたい。

○委 員：各自治会を増やして地域をまとめていくという活動を西東京市が行っているが、自治会についてお聞きしたい。

○委 員：地域学校協働活動に関しては自治会を巻き込んだ活動はまだできていない。反対に自治会が少なくなっている傾向がある。

○委 員：今は自治会から遠ざかっている世帯も少なくないので、自治会から地域へ働きかけるというのは難しいように感じる。ただ、子どもがいれば人が集まり、子どものために何かしようという動きは強いので、子どもを巻き込むとコミュニティができると考える。だからこそ小学校を核にした地域活動は推進しやすいのではないかと。

○委 員：子どもを核にして、働きかけてくれる人はいるが、それをどのようにつないでいくのかを考えていくことが、地域づくり、人づくりの柱になると考える。既存の団体がどのように連携を取って活動をしているのかを知り、さらに、新たに地域活動に加わりたい人をどのように見つけ出し、参画してもらうかが重要である。そこで公民館の仕掛けを調査してみてもどうだろうか。公民館が講座を企画し、市民が受講、それを学ぶだけではなく、学びの成果を地域に戻す流れがある。学んだことをどのようにしたら地域に還元したくなるのか、どのように還元できるのかを調査すると良いのではないだろうか。

○委 員：公民館とコミュニティーセンターの違いをもっと生かしていくべきなのではないだろうか。公民館が、より地域づくりや人づくりに関われる仕組みが大事になってくる。社会教育施設

をどのように生かしていくかを考えられると良いのではないかと。

- 委員：既存の団体や活動がどこでどうつながるかが見えにくいところがある。それらをつなぐのは教育委員会では地域学校協働活動推進員（コーディネーター）であり、他部署では別の仕組みを用いているところもある。どういったエリアでどのようにつなげていくのかを整理していく必要があるのではないかと。実際には今ある仕組みから漏れている人がいると思う。仕組みを整理していくと、地域づくりが推進されるのではないかと。
- 委員：他部署では違う仕組みがあるというのは、目的ごとに仕組みを設けるため、やむを得ない部分はあるかもしれないが、行政の短所でもある。組織横断的な組織により、地域づくりという活動は、より活発になるのではないかと。
- 委員：いろんな繋がり推進されれば良いと思うが、それを進めていく立場の人が生まれるためには、どのようにすれば良いかを考えていきたい。様々な既存団体で活動に進んで参加している方々は、どこに行っても知っているような特定の方ばかりという現状がある。
- 委員：やはり人づくりが重要になるというのを改めて感じている。ただテーマが広いので、どう絞り込んでいくかを少し考えていく必要がある。これまでの皆さんの意見を伺っていると、社会教育の担い手となる人をつくっていくのか、それとも社会教育という活動そのものによって人をつくっていくのかの2つの視点に集約できると思う。視察等させていただきながら、人づくりについて議論をして、結局、人と地域は繋がっているのだから、その人づくりの方向性が見えれば、地域づくりの方向性も見えてくると考えるので、まずは、人づくりを中心に進めていく方が提言としては作りやすいのではないだろうか。
- 委員：地域づくりという言葉は分かりやすいが、人づくりという言葉をもう少し考えていく必要があるのではないかと。また、親父の会の活動に関して、声を掛けてもらい参加したところ、他の団体の皆さんも参加し、全体で繋がりました。そこで動き出したらいろいろと見え始めてきた。だからこそ、まず動いてみるのが大事であると感じている。
- 議長：近隣市の「学校みまもりボランティア」によれば、子どもたちのために活動すると子どもから元気をもたらえるなど、やりがいを感じるという声を聞く。地域学校協働活動の実施は地域の人々にやりがいをもたせ、地域の人々相互の繋がりを深め、ひいては地域づくり、人づくりにも発展していくと考える。今後も地域学校協働活動のご報告をいただきながらも、その報告を活かしていくような方向で提言の議論を進めていきたい。

## その他

次回会議について

令和4年5月27日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎 3階会議室